

2019年度から写真教員に就任する先生をご紹介します。
2016年に卒業した田中一泉さんと
2017年に卒業した東方結香さん。
「もう一度ダイスキな写専で学びます」と
志しを胸に刻み笑顔が溢れる二人。

田中一泉 × 東方結香

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY vol.57

UP! SPECIAL HAPPY is FAMILY

写専を卒業して博報堂プロダクツに入社した田中一泉先生(23)は「学生たちと共に成長していきたい」と抱負を語る。卒業してイイノ・メディアに入社した東方結香先生(22)も「学生と歳が近いのでなんでも話ができる気がします。いっぱいおしゃべりがしたいですね。きっと写真が好きになりやすいよ」(笑)田中先生は「学生時代から写真を取ることが好きだったんです。社会に出ると日常の仕事に追われてなかなか自分の好きな写真が撮れなくなってしまうので、でも学校に入ったのでパン振りしたいですね、オレの方がうまいだろうって自慢してやりますよ」(笑)「写真の会社に入ると、最初はアシスタントからスタートです。アシスタントの仕事は自分が何をやらないうけないかを事前にチェックしておくことです。わからないことは先輩方メラマンに聞くことです。何をどのよう撮りたいのかをしっかりと把握することが重要になってきます。こんな

ことを学生たちに教えていきたいですね」と東方先生は言う。「質問攻めの時間がいっぱいあるといいですね。こっちはもうかうかできないし、質問の予想を立てて準備しておかないと、バタバタするとみっともないですよ」(笑)田中先生は「また、写専入学です。新鮮な気持ちでなんか嬉しいですね」隣の東方先生が頷く。二人が口を揃えて言うのが「同期っていいですよ。写真の悩みも、楽しさもゲラゲラ笑いながら素直に言い合えるんですから」「授業に同期の友人も誘って一緒に授業がしたいですね」「それ最高。同期の方が写真がうまかったりして」(爆笑)二人の話はどこまでも続く。「早く学生たちの顔が見たいですね」学生たちにとっては学生生活から就職をした最初の現場の雰囲気まで親切に教えてもらえることでしょう。やりがいを持って頑張れ！新人先生たち。



よくしゃべる二人。
よく笑う二人。
明るい二人。
きっと教室は
楽しい風が吹くことだろう。